

Diversity-KOJO講座 ①

Diversity KOJO講座①を受講して

二年 理数探究科 女子

今回のDiversity-KOJO講座では「加速器とライフサイエンス」についてお聴きしました。去年よりも更に科学について学ぶことができ、自分の科学に対する興味が高まりました。

第一部の講演では様々なこととお聴きしましたが、加速器によって生体へのストレスを制御することとがんの放射線治療については、その技術の進歩の早さに驚かされ、感心しました。

第二部では講師の宇佐美徳子氏との座談会に参加し、女性研究員ならではの考えや現在取り組んでいることなどをお話していただきました。私には研究員はとても堅苦しいイメージだったのですが、意外と自由に自分の研究を楽しくやっていると聴かされとても良いと思いました。また、自分が今後どのようにして自分の夢の実現のために向かっていくべきか考えさせられました。

講座を通し、いろいろな話を伺って新たな興味をもつことができました。そしてこれからも学業に励んでいきたいです。



7月29日に本校において、高エネルギー加速器研究機構より宇佐美徳子氏を講師に迎え、Diversity-KOJO講座①が行われた。
内容は「加速器とライフサイエンス」という講演、「働く女性のキャリアパス」という座談会の二部構成であった。

SSH全国生徒研究発表会 & 2年探究科関西研修



「指導担当者注」…審査の結果、優れた研究に選ばれた学校(6校)は翌日、口頭発表も行う。

ポスター発表当日は長時間立ちっぱなしで大変でしたが、メンバー全員が楽しく発表することができました。発表後は、多くの方から厳しくも貴重な意見を頂きました。また、他校の発表からも多くの刺激を受けました。特に、口頭発表「指導担当者注」ではデータ量や発想力、表現力の点でレベルの違いを痛感しました。残念ながら、口頭発表には選ばれることができませんでしたが、生徒投票賞を頂くことができてもうれしかったです。今回私たちが沸点上昇について研究・発表するにあたって、本校の先生方はもちろん、山形大学工学部の神戸士郎教授ならびに技術指導員の藤原 渉氏、家族やクラスの人たちなど多くの方々にお世話になりました。本当にありがとうございます。私たちは最後まで楽しく、全力でやることができました。今後、この研究を通して学んだ多くの経験を大学での研究やプレゼンテーションに生かしていきたいと思えます。

SSH全国生徒研究発表会
三年一組 理数科 男子

祝・生徒投票賞受賞!



この研修で得られた知識やモチベーションをこれから研究につぎこんでいきたいです。

「超音波で物体を動かす」という、これからの世の中で役に立つ技術を開発した研究だ。また、ポスター発表や口頭発表の方法もとても参考になった。

最後に、SSH生徒研究発表会に参加しました。ポスター発表、口頭発表ともにレベルが高く、興味が尽きない発表会でした。特にポスター発表は、質問が容易な分、「もつ」とディスプレイしたのにより時間がない。と思うほどに充実したものとなりました。

次に、スーパーコンピュータ「京」を見学しました。既に次世代機が開発されており、「京」は8月半ばで稼働を停止してしまいうため、二度と見れない貴重な体験となりました。世界規模での性能競争等、次世代機にまつわるお話も伺うことができました。

8月6日から3日間、我々二年探究科は、研修のため関西へ出発しました。研修の中で、理数探究科はまずSpring-8やSACLAを見学しました。世界最先端の粒子加速器とX線レーザーで、その性能そしてスケールの巨大さに圧倒されました。それなのに扱う物質は非常にミクロな存在ということも興味深く感じました。

二年探究科関西研修を振り返って
二年 理数探究科 男子

SSH全国生徒研究発表会に参加して、私達自身の研究や研究発表に対する意欲が高まったと思う。今回学んだことや感じたことを生かして、今後の課題研究や研究発表に取り組んでいきたい。

発表には様々な分野の研究があり、どの研究もとても細かいところまで研究していて、これから研究活動をしていく上でとても勉強になった。その中でも特に私がすごいと思った研究は、「超音波で物体を動かす」という、これからの世の中で役に立つ技術を開発した研究だ。また、ポスター発表や口頭発表の方法もとても参考になった。

私達探究科は、8月7日と8日に神戸市で行われたSSH全国生徒研究発表会に参加した。発表会では、全国各地の高校生によるレベルの高い研究発表を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。

SSH全国生徒研究発表会
二年 理数探究科 女子

